

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2019年7月



選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠25mg「ケミファ」 セルトラリン錠50mg「ケミファ」 セルトラリン錠100mg「ケミファ」 塩酸セルトラリン錠

劇薬
処方箋医薬品

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記製品の「使用上の注意」の記載内容を下記のとおり自主改訂致しましたので、ご案内申し上げます。

敬具

記

<改訂内容（2019年7月改訂）>（該当部分のみ抜粋）

「併用禁忌」の項の記載を一部改訂し、以下のように改めました。 _____：追記箇所

改訂後			改訂前		
3. 相互作用 省略（現行通り） (1)併用禁忌（併用しないこと）			3. 相互作用 省略 (1)併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等 MAO阻害剤 セレギリン 塩酸塩（エ フピー） ラサギリン メシル酸塩 （アジレクト）	臨床症状・措置方法 発汗、不穏、全身 痙攣、異常高熱、 昏睡等の症状が あらわれることが ある。 なお、MAO阻害 剤の投与を受けた 患者に本剤を投与 する場合、また本 剤投与後にMAO 阻害剤を投与する 場合には、14日間 以上の間隔をおく こと。	機序・危険因子 セロトニンの分 解が阻害され、 脳内セロトニン 濃度が高まると 考えられる。	薬剤名等 MAO阻害剤 セレギリン 塩酸塩（エ フピー）	臨床症状・措置方法 発汗、不穏、全身 痙攣、異常高熱、 昏睡等の症状が あらわれることが ある。 なお、MAO阻害 剤の投与を受けた 患者に本剤を投与 する場合、また本 剤投与後にMAO 阻害剤を投与する 場合には、14日間 以上の間隔をおく こと。	機序・危険因子 セロトニンの分 解が阻害され、 脳内セロトニン 濃度が高まると 考えられる。
ピモジド（オー ラップ）	省略（現行通り）	省略（現行通り）	ピモジド（オー ラップ）	省略	省略

<改訂理由>

相互作用相手薬との記載の整合を図るため、薬剤名を追記しました。

前頁の改訂内容を踏まえ、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

今後とも弊社製品のご使用にあたって副作用・感染症等をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

以上

- DSU の掲載：今回の改訂内容につきましては、DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報 No.281（2019 年 7 月）に掲載される予定です。
- 改訂添付文書情報：最新の添付文書は以下のホームページに掲載致します。
 - ・ 日本ケミファホームページ「医療関係者向けサイト」(<http://www.nc-medical.com/>)
 - ・ PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」(<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)

PMDA による医薬品医療機器情報配信サービス「PMDA メディナビ」にご登録いただきますと、医薬品の重要な安全性情報がタイムリーにメール配信されます。
(<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medi-navi/0007.html>)